

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和7年2月21日(2025.2.21)

【公開番号】特開2023-150257(P2023-150257A)

【公開日】令和5年10月16日(2023.10.16)

【年通号数】公開公報(特許)2023-194

【出願番号】特願2022-59270(P2022-59270)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/20(2006.01)

G 0 9 F 3/04(2006.01)

G 0 9 F 3/02(2006.01)

B 2 9 C 49/24(2006.01)

B 3 2 B 5/18(2006.01)

10

【F I】

B 3 2 B 27/20 Z

G 0 9 F 3/04 Z

G 0 9 F 3/02 A

B 2 9 C 49/24

B 3 2 B 5/18

20

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月12日(2025.2.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

ヒートシール樹脂受容層と、当該ヒートシール樹脂受容層上にヒートシール樹脂を含有するヒートシール層とを備える熱可塑性樹脂フィルムであって、

前記ヒートシール樹脂受容層が、熱可塑性樹脂、無機粒子及び表面処理剤を含有し、前記ヒートシール樹脂受容層中の前記無機粒子の含有量が40～80質量%であり、

前記表面処理剤が、炭素数8～20の炭化水素基を有する酸、当該酸のエステル、及びその塩からなる群より選択される少なくとも1種であり、

前記ヒートシール層の表面のコア部のレベル差R_kが、1.2～9.0μmであり、

前記ヒートシール層の表面の十点平均粗さR_{zjis}と前記レベル差R_kとの比R_{zjis}/R_kが、3～10である

熱可塑性樹脂フィルム。

40

【請求項2】

前記ヒートシール層の表面のコア部の負荷長さ率M_{r1}が、6.5～15%である

請求項1に記載の熱可塑性樹脂フィルム。

【請求項3】

前記ヒートシール層の表面の平滑度が、1000～10000秒である

請求項1又は2に記載の熱可塑性樹脂フィルム。

【請求項4】

前記ヒートシール樹脂受容層が、延伸多孔質層であり、

前記熱可塑性樹脂の融点が、前記ヒートシール樹脂の融点より高い

請求項1～3のいずれか一項に記載の熱可塑性樹脂フィルム。

50

【請求項 5】

前記無機粒子の粒度分布において累積で 50% にあたる平均粒子径 D_{50} に対する、累積で 90% にあたる平均粒子径 D_{90} の比 (D_{90} / D_{50}) が 5 以下である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の熱可塑性樹脂フィルム。

【請求項 6】

前記ヒートシール樹脂受容層の空孔率が 20% 以上 70% 以下である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の熱可塑性樹脂フィルム。

【請求項 7】

横方向 (TD) における引張弾性率が 200 MPa 以上 3600 MPa 以下である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の熱可塑性樹脂フィルム。

10

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の熱可塑性樹脂フィルムを含む、ラベル。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の熱可塑性樹脂フィルムを含む、インモールドラベル。

20

30

40

50